

施策番号	2005		
施策名	歩行者と共存可能な自転車利用の促進		
概要	駐輪施設の整備や放置自転車の撤去及び放置防止啓発活動を実施することにより、歩行者等の通行を妨げ、まちの景観を損なう放置自転車の減少を目指すとともに、自転車利用ルール・マナーの向上を図り、歩行者と自転車が安心・安全で快適に通行できる環境を実現する。		
担当局・部室	建設局・自転車政策推進室	共管局・部室	
上位政策	20 歩くまち		
施策に関係する 主な分野別計画等	改訂京都市自転車総合計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		24年度	25年度	26年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	鉄道駅周辺における駐輪場の整備状況(台)	a	a	46,352	47,871	350台増	434.0%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度回答						
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1	駐輪場の整備や自転車の利用マナーの向上により，自転車と歩行者が共存できている。	29	99	174	136	87	525	c
		5.5%	18.9%	33.1%	25.9%	16.6%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						25 年度	C
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	c			
(重み付けの理由) 安全で安心できる歩行空間は、市民に実感されることが重要であるため、市民生活実感評価を重視する。								
(原因分析) 【客観指標】「民間自転車等駐車場整備助成制度」の活用や公募事業者による整備など、民間活力を活用して駐輪場の整備を進めたことにより、目標を大幅に超え、3年連続a評価と高い評価で安定している。 【市民の実感】走行空間の整備や自転車利用者のマナー啓発等、ハード・ソフト両面の取組を進めてきたことにより、ある程度改善状況にあると実感されたと考えられ、d→c評価と改善した。							24 年度	C

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		25年度 決算額	26年度 予算額		
1	放置自転車等対策	429,877	470,492	かなり良い	建設局
2	市営自転車等駐車場	76,597	94,728	－	建設局
3	京都市山科駅前駐車場（ラクト駐車場）	86,778	87,416	－	建設局
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- 京都市内の鉄道駅周辺において、「民間自転車等駐車場整備助成制度」の活用等により、更なる駐輪施設の整備を目指す。
- 自転車と歩行者の共存が課題となっていることから、上記施設整備と合わせ、自転車利用者のマナー向上に向けてより効果的な啓発活動を推進することにより、放置自転車を減少させ、安心・安全で快適な歩行空間の確保を目指す。具体的には、自転車の放置防止及び駐輪施設利用促進の啓発活動について、市民から要望のあった箇所での啓発や、夜間など違法駐輪の多い時間帯での啓発など、市民のニーズに応えながら、地域団体や関係機関との共汗・融合により更なる充実を図る。

施策名	2005	歩行者と共存可能な自転車利用の促進					
指標名	鉄道駅周辺における駐輪場の整備状況（台）						
担当課	自転車政策推進室		連絡先	2 2 2－3 5 6 5			
1 指標の説明							
京都市内の鉄道駅周辺における駐輪場の整備状況							
2 指標の意味							
歩いて楽しく、環境にやさしく美しい都市空間の確保に向けた共汗の取組による放置自転車対策の進捗状況を示す指標			3 算出方法・出典等				
			算出方法：京都市における鉄道駅125駅周辺の駐輪場の整備状況（放置自転車台数－単年度における放置自転車減少の目標台数＝当年度における要整備収容台数） 出典：事業担当課調べ				
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度	
数値	46,352	47,871	1,519台増	350台増	中長期目標を達成するために当年度達成すべき数値	434.0%	
	全国順位	中長期目標			備考	実績値に本市関連整備以外の数値が含まれていたため、前回数値を修正した。	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値		2,800台増	32年度	155.9%			平成32年度末までに放置自転車等台数を平成21年度実績から2,800台減少させるための具体策として、同数の駐輪場を整備する。
5 評価基準							
単年度目標値に対する達成率 a:100%以上 b:80%以上100%未満 c:60%以上80%未満 d:40%以上60%未満 e:未整備～40%未満			6 基準説明				
			市内の鉄道駅周辺における駐輪場のうち本市関連整備（直営整備，民間自転車等駐車場整備助成金制度を活用した整備，公募等による事業者整備）及び鉄道事業者による整備収容台数と目標収容台数を比較し，その達成率で評価する。				
7 評価結果							
24		25		26			
a		a		a			